

2011年度 YMCA・YWCA合同企画プログラム



『アフガニスタン・イラク そして フクシマ』

＝ 著者は権利と正義を呼び求める ＝

講 師： NGO「イラクの子どもを救う会」 代 表 西谷 文和 氏



今年には日本において3月に東日本大震災が起こり、日本国内だけでなく世界中から援助の手が差し伸べられました。国民の目は今、国内の出来事に向いています。しかし、この時もイラクやアフガニスタンでは市民が殺され、また劣化ウラン弾による被曝の犠牲者が増え続けています。一方福島では、原発事故により撒き散らされた放射能の影に生活や健康がおびやかされています。いずれの世界でもその一番の被害者は、子どもと若者です。今世界で起こっていることと、福島で起こった原発事故について、今日われわれの世界の抱えている問題を西谷文和氏にお話いただき、共に考える機会としたいと思います。

日 時：11月17日(木)午後6:30～8:30

会 場：京都YMCA 地階 マナホール

京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2番地

地下鉄烏丸御池駅下車三条通を東へ徒歩5分

三条河原町より三条通を西へ徒歩5分

参加費：500円(学生300円)(含む軽食代)

問い合わせ先

京都YMCA 075-231-4388(担当加藤)

京都YWCA 075-431-0351(担当山本)

— 共に考えてみませんか。 —

世界のYMCAとYWCAでは毎年11月の第2週を「YMCA・YWCA合同祈禱週」として社会や世界の抱えている様々な課題について共に祈りを捧げる週としてきました。

京都YMCAと京都YWCAでは、毎年この週にその年の課題に沿った内容で講師を招いて共に考える会を持っています。この会は、YMCA・YWCAの会員に限らずどなたでも参加できます。

講師紹介 西谷 文和(にしたに ふみかず)

フリージャーナリスト 1960年生まれ 吹田市役所勤務を経て現在はフリージャーナリストとして活躍中。「イラクの子どもを救う会」の代表も務める。

イラクの子どもを救う会：国際飢餓対策機構と共に国連諸機関、民間諸団体と協力し、アジア・アフリカ・中南米の開発途上にある国々で「世界の飢えた人々に食糧と愛を」を標語に物心両面にわたる飢餓対策を行っている非営利のNGO

主 催：京都YMCA・京都YWCA合同祈禱週プログラム実行委員会